様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日　2024　年　1　月　16　日

１．職名・氏名　教授　田中裕美子

２．学位　　学位　博士　、専門分野　政策科学　、授与機関　同志社大学、授与年　2019 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **社会政策**（２単位）　２年次
②　内容・ねらい 様々な社会政策に関する基本的な知識を得ることを目的とする。 到達目標は、以下の 2 点である ・労働や生活に関するさまざまな社会問題について理解ができる。 ・社会政策の現状や意義、歴史について主体的に考えることができる。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 授業では、抽象的になりすぎないように、具体的な統計資料や調査などを多く用いて説明を行った。授業はすべてパワーポイントを使用し、わかりやすいスライド作成を心がけた。また、内容の理解の深化と復習のために、授業ごとに課題を出しフィードバックをおこなった。Google Classroom を活用し、授業資料の配付、質問の受付対応、など双方向型の授業を心がけた。
(2)その他の教育活動
内容

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **所得とニーズの保障**（2 単位）3 年次
②　内容・ねらい 「雇用形態の多様化」が、「セーフティーネットの格差」につながっている状況について学ぶことを目的とする。到達目標は以下の 2 点である。 ・「雇用形態の違い」が社会保険に与える影響、 ・失業・仕事と育児の両立支援・高齢者の就業・若年者など、多様な視点から「セーフティーネット」の課題について理解することができる、である。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義科目ではあるが、少人数のメリットを生かしてディスカッションなども交えながら授業を行った。資料については、Google Classroom を通じて配布し、授業もパワーポイントを使用した。その際に、統計や調査資料を示しながら、「エビデンス」が意識できるような授業を組み立てた。
(2)その他の教育活動
内容

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **導入ゼミ**（2 単位）　1 年次
②　内容・ねらい 「日本社会」の実情について、イメージではなく、客観的なデータをもとに検討することを目的とする。 到達目標は、以下の 3 点である。 ・論理的な文章を書く能力を身につける ・情報を収集し、整理する能力を身につける ・プレゼンテーション能力を身につける
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 「日本社会」について持っているイメージは多様であるとの認識を共有した上で、仕事・教育・国際など複数のテーマを取り上げた。テキストはグループ発表・グループディスカッションを中心に話し合いの機会を重視した。また、グループごとに、パワーポイントを使用したプレゼンテーションによる発表をすることでコミュニケーション能力の向上を図った。
(2)その他の教育活動
内容

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **社会福祉基礎演習**（2 単位）　2 年次
②　内容・ねらい 社会福祉基礎演習では、「働く」ことに関する社会問題をとりあげ、発表やディスカッションを通じて基礎的な知識を身につけることを目的とする。 到達目標は以下の 3 点である。 ・文献や視聴覚教材を通して「雇用問題」について理解する。 ・自らの主張や考えを客観的なデータを示しながらプレゼンテーションできる。 ・発表、運営、グループディスカッションなどを通じてコミュニケーション能力を身につける。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 社会福祉分野で働く際に、知っておくべき「雇用」をめぐる様々な課題が理解できるように、白書をもとに個別報告を行ってもらった。また、ディスカッションも重視し、活発な発言と意見交換ができるような雰囲気作りに配慮した。
(2)その他の教育活動
内容

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **労働経済学**（2 単位）　2 年次（経済学部）
②　内容・ねらい 日本の労働市場の現状およびそのしくみや課題について理解し考えることができることが目的である。 到達目標としては、以下の 3 点である。 ・労働市場の現状やさまざまな雇用問題についての理解を深めること ・労働政策の変化を理解し、今後の課題について自分で考えることができる ・働く際に知っておく必要となるルールや仕組みに関する知識を習得すること
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 授業では、双方向の授業になるように工夫をした。資料については、Google Classroom を通じて配布し、授業もパワーポイントを使用しながら行った。授業の最初に、前回の復習となる課題を提示し、各自で解答した後に、直後に復習をおこない理解の定着を図った。経済学部であるので、経済的な資料を中心に多用しながら、より具体的に労働市場の構造の理解が深まることをめざした。
(2)その他の教育活動
内容

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **社会政策特論**（2 単位）　1 年次（大学院修士課程）
②　内容・ねらい 雇用を中心とした文献を輪読し、「日本社会のしくみ」について学ぶことが目的である。 また、受講生のニーズに応じたテーマもとりあげた。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 授業では、テキストの輪読・白書の発表・関連分野の論文の輪読の 3 本柱ですすめ、 専門が異なっている受講生の多岐にわたる問題関心を高め、幅広い知見を得られるように工夫した。また、受講生の社会人としての経験を中心に、テーマに沿った議論を通じて相互理解を深める工夫をした。
(2)その他の教育活動
内容

４．研究業績

(1)研究業績の公表
① 著書 【　本】
② 学術論文（査読あり） 【　本】
③ その他論文（査読なし） 竹廣良司・田中裕美子「既婚女性の就業選択――幼い子どもをもつ女性の就業に影響を与える要因――」『経済学論叢（同志社大学）』第 75 巻、第 2・3 号、2023 年 12 月、203-229 ページ. 【 1 本】
④ 学会発表等 【　件】
⑤ その他の公表実績 【　本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
(3)特許等取得
(4)学会活動等
社会政策学会春季大会企画委員会委員 社会政策学会　第 146 回大会（2023 年春季）大会　開催・企画・運営（2023 年 6 月 3 日～4 日）（於立教大学池袋キャンパス） 社会政策学会　第 146 回大会（2023 年春季）大会　自由論題 B【ジェンダー】座長（2023 年 6 月 3 日）（於立教大学池袋キャンパス） 社会政策学会　第 146 回大会若手研究者優秀賞選考委員会　委員長

５．地域・社会貢献活動

国－① 厚生労働省　山口地方最低賃金審議会委員（R1.4～R5.2） 山口地方最低賃金審議会　山口県鉄鋼業、非金属製錬・精製業、非鉄金属・同合金圧延業、非鉄金属素形材製造業　最低賃金専門部会委員（R1.4～R5.2） 山口地方最低賃金審議会　山口県輸送用機械器具製造業 最低賃金専門部会委員（R1.4～R5.2）

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
福井県立大学論集編集委員会　委員（R5.4～現在に至る） オープンキャンパス委員会　委員（R5.4～現在に至る） 看護福祉学部 社会福祉学科 親睦会幹事（R5.4～現在に至る） 看護福祉学部 研究活性化 WG（R5.4～現在に至る）
(3)学内行事への参加
オープンキャンパス運営・参加（2023 年 8 月 6 日　8 月 27 日）
(4)その他、自発的活動など